



西南学院大学女子同窓会

西南ゆりの会

会報

29号

2022年3月31日発行
〈発行人〉波多江愛子

西南学院大学女子同窓会



SEINAN Woman
of the Year 2021

晴野まゆみさん

(80期・外英)

P.2~3

福岡セクハラ訴訟で声を上げた 晴野まゆみさん
対談 波多江会長×晴野さん

P.4~5

OGのひろば 今回のテーマはSDGs

P.6

2021年度の活動から

P.8

PICK UP NEWS ~卒業生の近況紹介~



福岡セクハラ訴訟で声を上げた 晴野まゆみさん

西南学院大学女子同窓会（西南ゆりの会）主催の「SEINAN Woman of the Year（西南ウーマン）2021」に晴野まゆみさん（80期、文学部外国語学科英語専攻）が決まりました。新型コロナウイルス感染症のまん延防止に配慮し、恒例の記念式典・祝賀会は開催せずに、会長・副会長など少人数による伝達式という形です。

晴野さんに顕彰の意を伝えるとともに記念品を贈りました。

晴野さんは1989年、日本初のセクシュアルハラスメントの違法性を訴えた「福岡セクハラ訴訟」の原告として裁判を闘い、1992年に全面勝訴。判決では、セクハラは女性の人格権や働く権利を侵害することが認められ、その後の様々なハラスメント被害（アカハラ、マタハラ、パワハラなど）を浮き彫りにするきっかけとなりました。

さらに1999年の改



福岡市内のホテルで開いた伝達式で、中央が晴野さん。（2021年10月9日）

プロフィール

晴野まゆみさん

出版編集会社代表取締役。1980年西南学院大学文学部外国語学科英語専攻卒業。1989年8月福岡セクシュアル・ハラスメントの違法性を訴えて福岡地裁に提訴。1992年4月全面勝訴。著書に「さらば、原告A子 福岡セクシュアル・ハラスメント裁判手記」など。

推薦のこぼ

原田 直子 さん（一緒に裁判を闘った弁護士）

1989年、日本初のセクシュアルハラスメントの違法性を訴えた「福岡セクハラ訴訟」の原告として裁判を闘った晴野さんの勇気にまず敬意を表します。この裁判は全国的に注目を集めました。すでに男女雇用機会均等法が施行されたとはいえ、職場での理不尽な扱いについて女性自身が「ノー」の声を上げることは、当時大変勇気のいることでした（これは今も変わりません）。

そんな中、晴野さんは闘い、「セクハラは女性の人格権や働く権利を侵害する」という判決を勝ち取りました。そしてこの判決は社会のみならず国政にも大きな影響を与えました。晴野さんは歴史に残る大きな役割を果たされたと思います。

祝辞



西南学院大学学長 G.W.バークレー様
晴野まゆみさん、
「SEINAN Woman of the Year 2021」に選ばれましたこと、誠にありがとうございます。遅く清らかに咲くゆりの花のような晴野さんの存在は女子卒業生の鑑であり、私たち大学教職員にとっても励みとなっています。

西南ゆりの会主催のキャリア支援などの行事や同窓会での交流、各種報道などを通じて、多くの女子卒業生の姿を拜見し、大変嬉しく感じております。晴野さんをはじめとして、同窓生の皆様お一人お一人のご活躍を心からお祈りいたします。

西南学院大学同窓会会長 岩崎 文正様



「腹の底からの怒り世を動かす」。西南ウーマン2021の選考会に提出された晴野まゆみさんの推薦書に初めて目を通したとき、直感的に私の頭の中を走り抜けた言葉です。当時、性にまつわる問題で、女性が自ら裁判を起こすことは大変な困難を伴ったことでしょう。晴野さんが起こした「福岡セクハラ訴訟」（1989年）での全面勝訴、そしてそれ以降の活動は「真つ当な主張が、職場風土の改革を促す」ことを立証しました。

西南学院の創立者・C.K.ドージャー先生は「世の中を持ち上げる（改革する）人材の輩出」を教育の柱に据えられていたそうです。晴野さんが職場における一方の性の理不尽な言動の跋扈に、自ら原告として切り込まれたことは、建学の精神の一つの発露に違いないと確信しています。

波多江会長



晴野さん

西南ウーマン2021を記念して、晴野まゆみさんと西南ゆりの会の波多江愛子会長が対談に臨みました。弁護士でもある波多江会長と、原告として裁判を闘った晴野さんの中身の濃い内容となっています。

波多江愛子会長（以下波多江）

西南

ウーマン2021、おめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大で今回は記念式典が開催できずに残念です。

晴野まゆみさん（以下晴野）

大変光栄

なことですが正直びっくりしました。私も、式典でお礼の言葉を伝えたくてです。女子同窓生や学生さんにも伝えたいことがあります。対談の機会があったよかったです。

波多江

弁護士という仕事柄、ハラス

メントを訴えることの難しさは肌で感じます。まだハラスメントという言葉もない時代にセクハラを訴えることはとても大変だったと思います。



晴野

当時、女性は25歳までに結婚できなければ売れ残り、仕事は結婚前の腰掛けと嫌味を言われるような時代でした。でも仕事はやりがいがあり、楽しかった。はじまりは、29歳の時、婦人科系の病気で仕事を休むことになった際、男性上司が「晴野は男遊びが激しいからその病気になった」と言いふらしたことでした。女性の尊厳を否定されたと感じ、ショックでした。専務と社長に相談しましたが、「笑って済ませろ」などと真剣に取り合ってくれない。そして、数カ月後、社内での雰囲気が悪くなったのは君のせいだと私が解雇されました。

波多江 上司の発言もあり得ませんが、専務や社長の対応はさらに許しがたいですね。

晴野

どうしても納得がいかず、上司を相手に名誉棄損の調停を裁判所に申し立てました。しかし、調停委員に「女は若いうちが花。こんなことで訴えるなんて前代未聞だ」と言われました。

波多江 裁判所の調停委員まで…。でもそこで諦めなかったんですね。

晴野

いろんな人に相談し、訪ね歩く中で「女性側の一方的犠牲で会社の問題



を解決しようとした人権侵害、性差別は違法であり、精神的苦痛を与えたことは不当行為です。闘いましょう」と言ってくれる弁護士に出会いました。初めて私が悪いんじゃないと分かってもらえ、光が見えました。

波多江

大変な裁判だったと思います

が、判決はセクハラがあったこと認め、セクハラは違法だと認めました。日本で初めてでした。

晴野

敗訴の可能性もあると思っていました。それでも声を上げることに意味

があると自分に言い聞かせ、闘いました。判決の時は、弁護士の「おめでとう」の言葉で勝訴したことが分かり、本当に嬉しかったです。

波多江

晴野さんが声を上げたおかげ

で、セクハラは違法性が明らかになり、モラハラ、パワハラ、マタハラなど様々なハラスメントが問題とされるようになりました。被害に遭っても声を上げられなかった人たちに、声を上げる道筋をつくったことこそ、晴野さんの功績だと思います。

います。最後に西南ゆりの会の同窓生へメッセージをお願いします。

晴野

おかしい、納得がいけないと感じたら、その感覚に正直であってほしい。差別はいろんなところでまだ根強く残っています。おかしいことに声をあげ次の世代へ、また次の世代へと意識改革のバトンを受け継ぐことで差別のない社会がくることを願っています。

波多江

本日はありがとうございます

た。

NHKの「逆転人生」にTV出演されました。

2022年1月24日放映のNHK総合「逆転人生」が、日本初のセクハラ裁判の原告として晴野まゆみさんを取り上げました。この中で、原告全面勝訴の判決を出した裁判長が「自分にもステレオタイプの女性観があった。法廷でのやり取りの中で「何か変だな」と気づき、海外などの事例を勉強し直した」という証言は貴重。そして晴野さんは「バトンを持って走り出し、それが辛くて途中でバトンを落としてもそれを拾って次の人が走ってくれる。そうして時代は変わっていく」というメッセージを残しました。





のぐち まりな
野口 茉里奈さん

(16期・外英)
福岡市

株式会社ジェイ・エス・ピーネットワーク(ユニライフ)
九州支社 九大学研都市駅店 店長



豊かな生活空間の創造を目指して

在学中の学内アルバイトで新入生のお部屋探しの仕事をしたことがきっかけで不動産業に興味を持ち、卒業後は学生向けの賃貸マンション斡旋の仕事に就きました。現在は西南学院大学をはじめ、多くの学生さんのお部屋探しに携わっています。タイトルに挙げている「豊かな生活空間の創造」は私の会社の理念にもなっており、日々仕事をする中で今回のテーマであるSDGsに関する取り組みは重要だと感じています。

現在私の会社では、マンション内に回収BOXを設置して不要になった古着の回収をしたり、家具家電をリサイクルして再利用したり、一部の地域のみではありますが試験的に活動に取り組んでいます。

入居する学生さん同士の交流促進と、衣料や家電の廃棄削減に貢献できるため、今後は取り組みを実施できるマンションを増やしていきたいです!



マンションに設置された古着の回収BOX



たか き み ほ こ
高木 美穂子さん

(80期・児教)(16期・院入)
福岡市

NPO法人ゆい 理事長



子育て支援を形に

子育て中に親子対象の活動に取り組む中で「子育て支援を形にしたい」と考え、大学院で学び直すことに。在学中同じ思いをもつ人と出会い、6年前に「NPO法人ゆい」を立ち上げました。

福岡市の補助事業となった「子どもの食と居場所づくり支援」には年間延べ1,000人以上が参加。そこでの出会いや経験が、空き家バンクを活用した現在の「みんなのおうち」の活動につながっています。多くの人に応援を頂きながら、子どもたちの「寺子屋」として、そして子育て支援に関わる人たちにとっても「生きがい」となる、そんな「みんなの居場所」にしていきたいと考えています。



「みんなのおうち」の活動のひとつ

近年よく耳にするSDGs(エスディーズ)。2015年に国連が採択した2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。今回は、各分野でSDGsに貢献する方々に近況を語っていただきました。



か こう のぶ こ
鹿子生 寛子さん

(80期・国際)
福岡県太宰府市

健脳リハビリテーション 主宰・介護職員接遇教育
インストラクター・高齢者アクティブプランナー



ぴんぴんキラリ♪を合言葉に

「世の中になほ憂きことの積もれかし 限りある身の力試さん」という熊沢蕃山の歌をご存知でしょうか?高齢者の憂きことは、加齢による喪失感、運動器の衰え、孤独感、疾病などのフレイルですね。老いは誰にでもやってきます。私が主宰する「健脳リハビリテーション」は、ぴんぴんからコロリまでの長い時間を最後まで諦めず、自分らしく「ぴんぴんキラリ」で輝かせるお手伝いをするというものです。

これらの実践の場である「デイサービスららら♪」(福岡県太宰府市)では運動器のリハや体操、家事作業や畑仕事など生活リハビリを通じた「身体機能リハ」。脳の活性化に手先を使うアートワークや手芸などの「創作活動」。楽しく美味しい「食養生」。音楽療法や傾聴などの「メンタルケア」を4本の柱とし、健脳リハビリならではのフレイル予防に取り組んでいます。



生活リハとして農園で収穫した野菜で美味しいお昼をいただきます



オウ ティ ゲツ
王 貞月さん

(04期・院国)
福岡市

大学非常勤講師



女性の政治参画からジェンダー平等の実現へ

博士論文の調査で、ジェンダー問題に関連する法体制の不備を痛感しました。以降、西南学院大学などで非常勤講師を務めながら、女性の政治参画についての調査と推進に向けた活動を続けています。日本でジェンダー・ギャップ(性差によって生じる格差)が大きい要因の一つは、同質かつ男性中心の政治が続いているからだと思います。社会におけるジェンダー平等への取り組みは喫緊の課題で、とりわけ女性の政治参画が欠かせません。多様な議事を実現する選挙制度を進める「楽しく比例制をめざす会」と、男女共同参画のまちづくりを進める「NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会」(gefca=ジェフカ)を中心に、活動しています。みんなの力でみんなが幸せになるジェンダー平等の社会を実現することを願っています。



全国フェミニスト議員連盟主催「オータムセミナー2021」で報告



よしだ のりこ
吉田 紀子さん

(92期・国際)
福岡市

いろいろ焼き筑前堀 女将



フレンチシェフからいろいろ焼き女将

子どもの頃からお菓子作りや料理が好きでした。大学卒業後、冷食メーカーの女性営業第一期生として入社しました。まだまだ続く料理好きが高じて、ついにはフレンチ料理人として働き始め、修行時代を経て、テレビチャンピオン女性料理人選手権で優勝。その後、西南大出身の夫(吉田真91期・国際)と「いろいろ焼き筑前堀(福岡市西区)」二代目を継ぐことになりました。季節の食材を使ったいろいろ焼き料理がメインですが、その中で前菜や、小鉢、デザートなどにフレンチテイストを少し織り交ぜています。

フレンチの料理人としてケータリングや出張料理、お菓子やワインの教室などの仕事もやりつつ、2021年春から、新博多銘菓「博多いろいろ」の商品開発、販売を手掛けています。

好きは続く、続けられる、チャレンジし続けられるという信念で、これからも日々精進していきます。



いろいろ伝来の地、福岡市博多区にある妙楽寺の石碑前で(左から2人目が吉田さん)



やすもと たみこ
安本 多美子さん

(91期・法法)
福岡県筑紫野市

株式会社ノビルデザイン
ホームページ <https://www.nobiru-love.com>



未来にデザインで良いインパクトを!

大学時代に映像製作にのめり込み、法学部であったにも関わらず映像制作会社に入社。約10年TV番組、企業や博物館などの映像制作に携わりました。その後独立起業、企業や店舗のブランディングデザイン、映像制作などを行っています。農業から街づくり、教育、環境など、デザインはあらゆるシーンに欠かせないものになり、やりがいを感じています。

また、生まれ育った土地の歴史や風土に愛着を持つようになり、ライフワークとして四季の風景を撮り続けていた写真が本になったのは喜びでした。時代が変わろうとしている今、さまざまな立場の人と、デザインの力で未来に良いインパクトをもたらすことができたらと思います。



大宰府の歴史や自然などを紹介した本。安本さんが写真を手がけた

OGのひろば



おお ぽ へ み
大坪 恵美さん

(91期・外英)
福岡県八女市

Happy-Deez英会話・学習塾 主宰
ホームページ www.happy123abc.com



好きこそ物の上手なれ

福岡県八女市で、英語指導をメインとした子どもの学習塾を25年間運営しています。大人の英会話サロンと合わせて、生徒数は150名程です。

子どものころから、海外にとっても興味があり、世界地図で国の名前を覚えたりすることが大好きでした。「好きこそ物の上手なれ」というように、私の教室の生徒たちにも英語をきっかけにさまざまな事柄に興味を広げてほしいと思っています。

現在、教室には6人の外国人講師がいて、業務連絡も全て英語のため、「英語を話す日本人」として、知識を更新しながら勉強を続けています。学生時代よりも、今の方が意欲的に勉強をしているかもしれません。

「身につけた知識や経験は、どんな困難の中でも決して無くなったり奪われたりすることはない」ということを改めて実感しています。



クリスマス発表会で(ステージ右端が大坪さん)



よし つか ほの か
ヨシフク ホノカさん

(19期・児教)
東京都

イラストレーター



理想が実現することの楽しさ

私は現在、東京を拠点にイラストレーターとして活動しています。幼少期からの趣味が高じて、今ではアパレルブランドとのコラボや企業広告など幅広いお仕事に携わることができるようになりました。初めはただ好きで描いていただけでしたが、描き続けるうちに「いつかあの雑誌にイラストで携わりたい」「もっとたくさんの人にイラストを見てもらいたい」という目標ができて、それを実現していくうちに少しずつですが自分のやっていることに誇りを持つようになりました。今もまだその道の途中ではありますが、ワクワクする気持ちを忘れず理想に向かって今自分のやれることをやっていたら、少なくとも昨日の自分より成長できているはずと信じて。栄養をとってよく寝て、無理せず明日も頑張らましょ!



ヨシフクさんの作品「I can't stop me!

西南ゆりの会 2021年度の活動から

生理用品を配布しました 女子学生を応援

新型コロナウイルス禍で経済的に困窮し、生理用品を用意できない女性の存在が社会問題となっています。そこで西南ゆりの会では2021年12月15、16、17日の3日間(各日12:00-13:30)、1号館2階活動室で、女子学生を対象に生理用ナプキンを無償で配布しました。

学生さんたちは「嬉しい!」「助かります!」と喜んで受け取ってくれました。西南ゆりの会にとっても学生さんたちと直接触れ合うことで、私たちの存在や活動を知ってもらいたい機会になりました。

西南ゆりの会では、今後もさまざまな女子学生・女子同窓生を応援する取り組みを実施してまいります。



Instagramもオープン SNSでの情報発信 フォローを

西南ゆりの会では、SNSによるリアルタイムな情報発信を行っています。Facebookに続きInstagramもオープンしました。イベントや支援活動などの情報を発信します。ぜひ、フォローしてください。



Instagram



Facebook

新正副会長 バークレー学長と意見交換

西南ゆりの会の新正副会長が2021年10月8日、バークレー学長をたずね、正副会長就任の挨拶をするともに意見交換をしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による大学の状況や学生の就職活動などについて情報交換をしましたが、様々な制約が多く不自由な環境の中でも大学として最大限努力しているということでした。学長は「学生のために力を合わせていきましょう」と述べられました。



女子同窓生支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、2021年度の女子同窓生支援事業は1件「多文化共生ワークショップ インドネシア編」(2021年11月14日、福岡市中央区のアクロス福岡)のみでした。弥栄睦子さん(84期・国際)が代表理事を務める「NPO法人トゥマンハティふくおか」主催のワークショップで、インドネシアからの技能実習生も多数参加。日本人と実習生が同じテーブルで



語り合うことで「異なる文化=異文化」を知り、学び、考える貴重な体験の場となったようです。弥栄さんは「今後は地域の公民館や外国人労働者受入企業の日本人向けのプログラムとして広めていきたい」と話していました。

西南ゆりの会では2022年度も女子同窓生支援事業を実施します。この事業は、西南学院大学を卒業した女子同窓生が企画、もしくは主催する事業に対して最大5万円を支援するものです。詳しくは西南ゆりの会のホームページをご覧ください。申し込みに必要な書類もダウンロードできます。

大学のトピック・お知らせ

● 23年度にカリキュラム改革

改革の主な柱は、学生が自主的・自律的に学ぶ技法「アカデミックスキルズ」を推進する体制の強化です。学習支援コーディネーターの配置などを検討中です。このほか「数理・データサイエンス・AI」を扱う科目の開設準備も進めています。

● 国際交流再開

コロナ禍で国際交流国際プログラムを休止していましたが、状況を精査しながら2021年8月以降、約70人の学生を派遣留学に送り出しています。

● 産学官連携

大学は昨年10月、福岡県筑後市と包括連携協定を締結。地方自治体との同協定締結は福岡市、福岡県志免町、同糸島市、長崎県佐世保市に次いで5つ目です。自治体以外にも企業などを含めた産学官連携にも取り組んでおり「在学中に多くの経験を積み社会を引っ張っていける人材育成」を目指します。

2021 年度事業報告

- キャリア支援セミナーは中止となりました。
- 西南学院大学同窓会総会は動画配信となり、西南ゆりの会も参加しました。
- 第36回西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)総会は中止となりましたので、総会決議事項等につきましては、役員(理事・評議員・監事)による書面決議を行いました。
- SEINAN Woman of the Year 2021
晴野まゆみ氏(80期外英)を選出し、「SEINAN Woman of the Year 2021伝達式」を開催
日時 2021年10月9日(土)14:00~15:00
会場 西鉄グランドホテル 真珠の間
- 同窓生支援事業
以下1件のイベントに支援しました。
① 外国人と仲良く暮らすための多文化共生ワークショップインドネシア編
主催：NPO法人トゥマンハティふくおか
代表理事 弥栄陸子氏(84期・国際)
開催日時：2021年11月14日
- 会報第29号の発行(2022年3月31日発行)
- 他団体合会への出席
 - 西南学院大学同窓会支部総会・意見交換会(東京支部、関西支部、熊本支部、佐賀支部、北九州支部、柳川大川みやま支部)
 - 九州大学女子卒業生の会「松の実会」オンライン総会・講演会
- 定例理事会
原則毎月1回、第2水曜日に開催

2022 年度事業計画 (予定)

- キャリア支援セミナー
- 西南学院大学同窓会総会へ参加
- 西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)総会
- SEINAN Woman of the Year 2022
- 同窓生支援事業
- 会報第30号の発行(2023年3月31日発行)
- 他団体合会への出席
- 定例理事会
原則毎月1回、第2水曜日に開催

2020 年度 決算報告 (2020年4月1日~2021年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	851,072	851,072	0	前年度よりの繰越
同窓会助成金	4,000,000	4,000,000	0	大学同窓会よりの助成金
事業費/ウーマン	500,000	0	500,000	
事業費/会報	250,000	250,000	0	会報27号広告代
雑収入	200,000	200,028	△28	HP/パナー広告代等
収入の部合計	5,801,072	5,301,100	499,972	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差引増減	備考
事業費	3,250,000	677,249	2,572,751	
(ウーマン事業)	1,200,000	46,750	1,153,250	運営費等
(キャリア支援事業)	300,000	0	300,000	
(同窓生支援事業)	500,000	38,500	461,500	運営費等
(会報事業)	1,250,000	591,999	658,001	会報28号製作費、印刷費等
広報活動費	750,000	802,610	△52,610	支部意見交換会参加旅費、事務局駐在費、ノベルティグッズ
35周年記念事業積立金	200,000	200,000	0	35周年記念事業積立金
35周年記念事業準備費	50,000	2,299	47,701	運営準備費
会議費	400,000	19,732	380,268	会議費一部負担
HP関連費	120,000	117,960	2,040	ホームページ関連費
印刷費	70,000	1,650	68,350	名刺作成費
通信費	200,000	113,612	86,388	無線ラン使用料、ZOOM使用料、書類送付代等
慶弔費	70,000	2,000	68,000	他団体のイベント参加費等
備品消耗品費	50,000	13,758	36,242	備品、事務消耗品費等
雑費	20,000	3,982	16,018	振込手数料等
大学同窓会返還金		2,450,000	△2,450,000	大学同窓会への返還金
支出の部合計	5,180,000	4,404,852	775,148	
次期繰越金	621,072	896,248	△275,176	2021年度会計への繰越金
支出合計	5,801,072	5,301,100	499,972	

2021 年度 予算 (2021年4月1日~2022年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	備考
繰越金	896,248	前年度よりの繰越
同窓会助成金	4,000,000	大学同窓会よりの助成金
事業費/35周年記念事業	500,000	35周年記念事業積立金より繰入
事業費/会報	0	会報28号広告なし
雑収入	200,000	HP/パナー広告代
収入の部合計	5,596,248	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	備考
事業費	2,950,000	
(35周年記念事業)	500,000	運営費等
(ウーマン事業)	500,000	運営費等
(キャリア支援事業)	300,000	運営費等
(同窓生支援事業)	400,000	交付金等
(会報事業)	1,250,000	会報29号製作費、印刷費等
広報活動費	750,000	支部総会参加旅費、事務局駐在費等
35周年記念事業積立金	—	
35周年記念事業準備費	—	
会議費	300,000	会議費一部負担
総会費	150,000	運営費等
HP関連費	150,000	ホームページ関連費
印刷費	70,000	会封筒作成費、名刺作成費
通信費	150,000	無線ラン使用料、ZOOM使用料、書類送付代等
慶弔費	80,000	他団体のイベント参加費等
リース料	50,000	PC関連費
備品消耗品費	30,000	備品、事務消耗品費等
雑費	20,000	振込手数料等
大学同窓会返還金	—	
支出の部合計	4,700,000	
次期繰越金	896,248	
支出合計	5,596,248	

西南ゆりの会 理事・評議員名簿

(任期は2023年7月まで)

会長 波多江 愛子 (93・法法)	理事 養原 千香子 (77・法法)	理事 入江 恵美 (91・法法)	宮崎 知覧 由美子 (81・経経)
副会長 高山 和代 (68・短見)	荒武 勢津子 (78・外英)	植村 康子 (92・国際)	大分 海原 みどり (84・国際)
正田 美加 (85・経経)	馬場 圭子 (79・外英)	志村 直美 (05・経経)	
上田 あい子 (97・商経)	後藤 純子 (80・外英)	地域理事	監事 中里 利子 (71・文英)
	重松 典子 (81・児教)	東京 金丸 晃子 (00・法法)	井上 暁子 (83・商商)
	城崎 由紀子 (87・文英)	関西 澤 順子 (78・外仏)	
理事 内海 昌子 (56・短見)	梶塚 洋美 (88・国際)	北九州 塩田 英子 (78・商商)	評議員 吉田 扶久子 (68・商商)
佐伯 道 (63・文英)	吉川 恵 (88・国際)	福岡糸島 久保 友季 (78・文英)	井原 絹江 (73・法法)
矢野 多美恵 (68・文英)	塚田 恵美子 (90・国際)	久留米 土屋 数紗 (12・外英)	藤井 千佐子 (73・外仏)
河内 光子 (69・文英)	盛坪 美佳 (90・法法)	熊本 古崎 喜代子 (79・商経)	納富 昌子 (76・外英)
松永 恵子 (72・短見)	一瀬 香 (90・国際)	福岡大川 野中 美保子 (79・法法)	古賀 敦子 (80・外英)
水城 啓子 (74・法法)	徳永 敬子 (91・法法)	福岡直方 植村 恵美 (94・商経)	金縄 初美 (91・国際)
桑野 綾子 (75・外仏)	永嶋 恵美 (91・外英)	佐賀 川原 理子 (77・外英)	99・院国)

PICK UP NEWS

～卒業生の近況紹介～

西南クロスプラザに 楠本恵子さんの大作

西南学院大学東キャンパスにある西南クロスプラザ1階に200号の大作「Oriental Lily 2001～心のままに～」(写真右)があります。洋画家の楠本恵子さん(75期・経経、女流画家協会委員・日



本美術家連盟会員、茨城県在住)が2004年に寄贈したものです。ダイナミックな色遣いと構図が目を引きま

す。その楠本さんが2021年3月、8年ぶりの個展を福岡市の県立美術館で開きました。本学を卒業後、独学で絵を学び、これまでに国内だけでなく米国や韓国などで個展を開催。今年も5月23日から東京・銀座のギャラリーGKで46回目の個展を開催するそうです。楠本さんの作品は福岡市中央区にある市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)1階ロビーなどでも見ることができます。



～神田さち子さんの近況～

舞台俳優の神田さち子さん(66期・文英)は2021年3月30日、ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」の200回公演を終えられ、25年の長きにわたる公演活動の幕を下ろされました。2022年1月からから全国で上映が始まった映画「われ弱ければ 矢嶋楯子伝」(山田火砂子監督)にも出演。常盤貴子さん演じる主人公矢嶋楯子(1833-1925)は、近代日本女性の地位向上に尽くした熊本出身の教育家です。



上映会予定 6/25(土)福岡市立博多市民センター、6/26(日)長崎ブリックホール お問い合わせ/現代プロダクションhttps://www.gendaipro.jp/kajiko_lp/

～前田恵理さんの近況～

日本車いすテニス協会会長の前田恵理さん(77期・商経、写真右端)は「パラリンピックの1年延期はアスリートにとって大変辛いものでしたが、無観客でも開催されたことに感謝しています。スポーツや芸術は感動や勇気を与える素晴らしいものです。辛いときは地面に根を張って大輪の花を咲かせる準備をする時間だと選手から学びました。パラリンピックの注目度が上がったことは共生社会へ向けた一歩だと感じています」と話していました。



編集後記

コロナウイルスの感染拡大により、行動が制限され不安な状態が続いて約2年。西南ゆりの会が継続実施してきた事業も見合わせが相次ぐ中、女子学生を応援したいとの思いから、今年度は「生理の貧困」と呼ばれる社会問題に注目し、生理用品無償配布を初めて実施しました。早くコロナウイルスが終息し、学生の皆さんが笑顔でキャンパスに集えることを願うとともに、今後も社会状況に応じて学生・卒業生を支援していきたいと思

います。(一瀬 香 90期・国際)

西南学院大学同窓生を応援しています 西南学院オリジナルグッズ



西南チロリアン



セナフィー



ネクタイ



扇子



マフラータオル

上記写真掲載以外にさまざまなオリジナルグッズを販売しています。詳細はホームページでご確認ください。

英語 ↔ 日本語の翻訳サービス

バイリンガルなスタッフだからこそ迅速かつ適切

- 日本語と英語の両言語を母国語とするスタッフを揃えていますので、ニュアンスなどの微妙な表現も的確に翻訳いたします。
- 翻訳以外にもナレーションや語学研修プログラムの企画・運営など、語学関連サービスは弊社にお任せください。

卒業記念品 等の製作

印刷全般

(ポスター、チラシ、名刺、プログラム、冊子等)

生花販売 等



学校法人 西南学院グループ

株式会社 キャンパスサポート西南

〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14-29 TEL.092-823-3576 FAX.092-823-3590

